

平成16年度 協会活動主要目標

主題「変化する社会的ニーズに対応できる作業療法の質の向上」

生活様式の変化や社会保障制度の変革によりますます地域での支援が作業療法にも要請されている。また発達領域では新たな特別支援教育制度に伴う専門家チームの一員として参画することが期待されるなど、教育支援での作業療法の展開が求められている。さらに、重大な医療事故が報道されるなか、職業倫理と人権により一層の配慮が求められていることは緊急の課題である。

生涯教育制度はこのような変化する社会的ニーズに対して、臨床及び教育における「質の保証(公認)」「専門性」「継続性」等を主眼とした生涯教育を通して社会的責任を果たそうとするものであり、卒前教育からの一貫した対応が強く望まれるところである。

1. 作業療法の質の向上

1)生涯教育の充実と啓発(継続)

- ・ 認定作業療法士審査等委員会の設置
- ・ 認定作業療法士特例 1500 人の登録
- ・ 士会による新人教育プログラムの完全実施および生涯教育基礎コース(現職者研修)の段階的開催(平成17年度に士会への完全移行)
- ・ 手帳およびコンピュータシステムの移行
(教育部、広報部、事務局)

2)卒前及び卒後教育の一貫性を図り、より一層の教育水準の引き上げ(新規)

- ・ 新作業療法ガイドライン、作業療法士教育の最低基準の浸透
- ・ 作業療法教育連絡会(仮称)の設置
(企画調整委員会、教育部)

3)職業倫理の徹底(継続)

- ・ 職業倫理ガイドラインの作成
(倫理委員会、福利部)

2. 高齢者リハビリテーションへの貢献(新規)

- ・ 高齢者リハビリテーションモデルにそった対応の向上
- ・ 卒前教育からの一貫した対応
(保健福祉対策委員会)

3. 福祉用具適応の適切な支援活動

- ・ 福祉用具給付等の適切な支援の向上
(保健福祉対策委員会)

4. 教育分野への貢献(新規)

- ・ 教育支援プロジェクトの設置
(保健福祉対策委員会)

5. 医療保険報酬体系への対応(継続)

- ・ 新たな診療報酬体系の課題の分析と対処

6. 介護保険制度への対応

- ・ 介護保険制度及び支援費制度等にかかわる課題分析と対応
(保険部)

7. 協会活動の機能評価体制の整備(新規)

- ・ 協会活動の機能評価のための体制及び必要な数値データの構築
(企画調整委員会、教育部、事務局)